



杉原 祥浩議員  
福祉病院教育常任委員会

**Q** 彦根中学校校舎棟増築工事に特色ある工事内容はあるのか

**A** プログラミングしたロボットを作動させることを意識したPC教室



その他の質問

- ・多賀スマートICの完成後の高宮交差点付近の渋滞解決策は
- ・犬上川右岸道路の期成同盟会を再開しては

**Q** 彦根中学校校舎棟増築工事に特色ある工事内容はあるのか。

**A** 2階のコンピュータ教室はプログラミングしたロボットを作動させることを意識したスペースとしている。

**Q** 増築工事の概要は。

**A** 軽量鉄骨造2階建て、延べ床面積623.72㎡の校舎を増築するもので、普通教室2教室とコンピュータ教室、多目的教室、便所、倉庫を設置する。また、既存校舎の3階のコンピュータ教室を普通教室2教室に改修する。

**Q** 令和5年度以降に増加する生徒数は。

**A** 令和9年度にピークを迎え、現在より75名増加し543名となり、クラス数は21クラスと見込んでいる。

**Q** 10年後の生徒数は。

**A** 503人と予想。



▲増築工事予定の彦根市立彦根中学校



北川 元気議員  
企画総務消防常任委員会

**Q** 子どもを熱中症から守るマスク着用の対策は

**A** マニュアルを周知し熱中症対策の徹底を図る



その他の質問

- ・市職員へのカスタマーハラースメントについて
- ・子どもの自殺対策について

**Q** 滋賀県独自のマスク着用基準の内容は。

**A** マスクが不要な場面として ▶屋外で他の方と十分な距離(2m程度)が取れるとき ▶屋内で2m程度の距離があり会話がないとき ▶外出時に屋外ですれ違う程度 ▶屋内外を問わず運動をするとき ▶屋内外を問わず未就学児。

マスクが必要な場面として ▶換気が悪い場所 ▶風邪症状のあるときや風邪症状のある人と接するとき ▶屋外でもイベントなど大人数のとき ▶濃厚接触者に該当するとき ▶対面で会話をするとき。

**Q** 子どもの命を熱中症から守るため、マスク着用について積極的な対策と指導、および保護者や地域住民へわかりやすい周知をする考えは。

**A** 今後は、各校の熱中症予防対策マニュアルを学校だよりやホームページ等で周知し熱中症対策の周知を図る。



▲滋賀県独自のマスク着用基準

## 個人質問



森野 克彦議員  
企画総務消防常任委員会

**Q** 彦根城入口付近に設置されている喫煙所は受動喫煙の影響はゼロか

**A** 受動喫煙の影響がゼロであるとはっきり言うことはできない



### その他の質問

- ・喫煙しない職員にも同等の休憩を与えるべきでは
- ・子どもの習い事に対する助成金制度を創設することはできないか

**Q** 彦根城入口付近に設置されている喫煙所は、受動喫煙の影響はゼロか。

**A** 望まない受動喫煙を防止するための必要な措置を講じた上で、必要に応じて喫煙所を設置している。

**Q** 受動喫煙の影響がゼロかどうか聞いている。

**A** 測定していないので受動喫煙の影響がゼロであるとはっきり言うことはできない。

**Q** ゼロではないということか。

**A** 受動喫煙の防止については徹底しているが、受動喫煙の影響がゼロか、ゼロでないかは測定していないので答えられない。

**Q** 実際に子どもや高齢者が通るところで、たばこの臭いがする。それが受動喫煙になっている。それでも、測定して大丈夫だったら移動もしないのか。

**A** 喫煙場所やその必要性について今後検討していきたい。



▲受動喫煙の影響がゼロだと言えないのに設置されている彦根城入口付近の喫煙所



小川 吉則議員  
福祉病院教育常任委員会

**Q** 鞍掛山・大堀山の整備は

**A** 鞍掛山・大堀山とも、市としての整備はしていない



### その他の質問

- ・彦根市スポーツ・文化交流センター「まちなか交流棟」について
- ・ひとり親家庭援護事業について

**Q** 旭森学区の鞍掛山・大堀山の、市としての森林整備、活用はどの様になっているのか。

**A** 鞍掛山・大堀山とも、市としての整備はしていない。

**Q** 森林環境税として、令和6年度からひとり年間1,000円、琵琶湖森林づくり県民税として、平成18年度からひとり年間800円徴収されている。森林整備のために広く市民が活用できる制度が必要ではないか。

**A** 森林環境譲与税は、年度末残高につき森林環境譲与税基金として積み立てている。市の管理する林道が台風等で崩落等した場合、復旧に何千万円と必要なことから基金を、市民に分配するのは無理だと考える。

しかし、自治会と森林所有者とが協定を結びこの里山をきれいにしていこうといった場合等であれば、活用が考えられる。



▲旭森学区鞍掛山の登山道入り口



黒澤 茂樹議員  
福祉病院教育常任委員会

**Q** 地域活性化に向けた「道の駅」設置の考えは

**A** 他の市施設の有効活用からスタートする



その他の質問

- ・デジタル田園都市国家構想の彦根市へのメリットは
- ・マイナンバーカードを全市民に行き渡らせる具体的な施策は

**Q** 「道の駅」は間違いなく地域活性化につながる施設か。

**A** 2025年までの「道の駅」第3ステージでは、地方創生、観光を加速する拠点として展開され、インバウンドや子育て世代の応援施設、大学連携などの支援メニューもあり地域の活性化につながると考えている。

**Q** 日本一の「道の駅」設置に向けた市長の考えは。

**A** 大切なことは投資対効果。国の補助金を使っても市には維持管理費用が毎年かかり、投資した資金を回収するのはかなりハードルが高い。

ハードより「彦根で何を売るか」、「独自性をどう出せるか」ソフトウェアの方が大事で、しっかり勉強する。

これまでに地域活性化につながるだろうとして作った施設が多数あり、まずは既存施設の有効活用を図ることからスタートしたい。

令和元年度(2019年度)滋賀県「道の駅」観光入込客数ベスト10

順位	名称	市町名	入込客数(人)
1	藤樹の里あどがわ	高島市	855,100
2	妹子の郷	大津市	837,000
3	あいとうマーガレットステーション	東近江市	782,200
4	竜王かがみの里	竜王町	628,800
5	びわ湖大橋米プラザ	大津市	559,000
6	アグリパーク竜王	竜王町	509,000
7	せせらぎの里こうら	甲良町	420,900
8	湖北みずどりステーション	長浜市	408,700
9	塩津街道あざかまの里	長浜市	404,100
10	伊吹の里	米原市	390,200
	(参考) 彦根城	彦根市	766,700

※本市で、観光入込客数ベスト30にランクインするのは彦根城のみ



森田 充議員  
市民産業建設常任委員会

**Q** 中学校運動部活動の現状は

**A** 令和2年度以降は60%代後半の加入割合



その他の質問

- ・部活動へのコロナの影響は
- ・部活動の「地域移行」についての認識は
- ・体力づくり彦根市学区スポーツ大会の趣旨は

**Q** 中学校運動部活動の現状は。

**A** 傾向としては野球やサッカーなど、団体競技に所属する人数が少なくなっている一方で、バドミントンや卓球などの個人スポーツは比較的多人数を維持している。

**Q** 夏季中体連の有観客開催の考え方は。

**A** 「滋賀県中体連事業開催における感染症対策ガイドライン」が6月9日に改訂され、今後は利用する会場の制限や状況に応じて滋賀県中学校体育連盟が専門部ごとに入場の可否を判断できるようになった。

**Q** 中学校運動部活動「地域移行」の保護者(市民)への周知方法は。

**A** まずは教職員に周知し、市のホームページなどを活用して保護者や市民に広く伝えていく。

各中学校では、部活動保護者会などで丁寧な説明を行い理解と協力を得ていきたい。



▲運動部活動の地域移行について  
(文部科学省会議資料から抜粋)